

2007年2月9日

関西電力株式会社社長 森 詳介 様

美浜3号の運転を即刻中止してください 高浜1号冷却水漏れ事故・データ改ざん 問題の根本原因を究明して下さい

若狭連帯行動ネットワーク

本日は、貴社が、16年前、美浜2号の蒸気発生器細管破断事故を起こした日に当たります。16年が経過して、原発の「安全管理」体制はできあがったのでしょうか。また、全社上げての品質保証システムの確立はできたのでしょうか。

貴職は、1月5日、新年あいさつで福井県知事に「引き続き私自身が先頭に立って安全運転はもとより、全社的に安全文化が浸透するよう努力する」との決意を表明しましたが、その矢先の1月14日に高浜1号の定期検査中に作業員が冷却水を浴びるという事故を起こしました。「このようなことは二度とおこさない」と言っていたにもかかわらず、10日しか経たないうちに、またまたしでかすというのは、一体どういふことでしょうか。これは、貴社には「安全管理」などまったくでき得ないという証左です。「作業マニュアルに従わず、勝手に前倒しで行ったため」との貴社の説明は、まったくもって開いた口がふさがりません。貴社の品質保証システムは全く機能していません。このような社風で、どうして美浜3号を運転する資格があるのでしょうか。このような状態では、いつなるとき原発重大事故が起こってもおかしくありません。貴職に改めて要求します。美浜3号の運転を即刻中止してください。

貴社によるデータ改ざん・隠蔽には、目を覆うばかりです。データを改ざん・隠蔽して、国への報告書を提出してもバレなければ、それでよしとする貴社の姿勢は、どこから生まれてきたのでしょうか。貴社は、「データの不適切な調整や修正並びに工事認可などの申告漏れが確認されたことについては深く反省しています」と言うだけで、本当に防ぎきれぬ問題でしょうか。原発の経済性を最優先させ、データの改ざん及び隠蔽を公然と行う体質そのものを、自ら厳しく問い正していかない限り、また同じことが繰り返されます。そして、ついには、取り返しのつかない原発重大事故へと発展することになるのです。

美浜2号事故から16年にあたり、今一度求めます。多くの人々が多大なる被害を受けてからではもう遅いのです。今動いている原発を直ちに止めて下さい。

原発に頼らない発電システムの日でも早い確立を切に願います。